

大相撲有屋場所

1_「はあ〜どすこい、どすこい」昨年から開会式で相撲甚句を披露する三上一雄さん（柳原） 2_どの学年でも負けられない真剣な取組が続いた 3_女子だって負けないぞ！上手を取って、さあ勝負！ 4_下学年男子4人がかりで金山駐在所沓澤巡査長に挑むも「全然動かない！」 5_上学年男子勝ち抜き相撲で優勝した海龍王（星川夢之介くん）。嬉しそうに御幣を掲げる 6_東の三役揃い踏み。（左から）大関の留威鵬（鈴木暖生くん）、横綱の太陽神（星川怜紅くん）、関脇の炎龍王（三上琉くん） 7_大会を締めくくった虎王（矢口琥太郎くん）による「弓取式」。何度も拍手がわき起こるほど見事



国技である相撲を学校行事に取り入れている有屋小学校。相撲を通じて礼儀や相手を思いやる気持ちを育んでいます。

「大相撲有屋場所」の始まりは実に30年以上も前とのこと。令和を迎えて初開催となる今年、伝統ある大会を盛り上げる嬉しいニュースがありました。一つは、相撲場の四本柱の入れ替え。老朽化していた柱を丈夫な金山杉に刷新しました。二つ目は勝ち抜き相撲の優勝者に御幣を用意したこと。地域の方が提供した太く立派な竹で制作したもので、大会に華を添えました。さらに相撲甚句有屋版の歌詞を毛筆で書いた大きな額を矢口一寿さん（柳原）が大会に寄贈されました。

児童たちは地域の期待に応えるように、力強い取組を繰り返してきました。土俵際の逆転劇や団体による取り直し、水入りの大相撲など、手に汗握る真剣勝負に観客の目は釘付け。終始声援の飛び交う大会となりました。

児童同士がたくましく成長した心身をおつけ合い、地域を活気づける場として、今年も大会は大成功に終わりました。



東の横綱太陽神（星川怜紅くん）と新庄警察署金山駐在所の沓澤巡査長との特別取組。太陽神が粘りの相撲で寄り切った。